

地下鉄 7 号線延伸に関する報告書が市へ提出される!

◆計画の概要

地下鉄 7 号線は、平成 12 年の国の答申で浦和美園～岩槻～蓮田までの延伸が位置づけられました。今回の検討対象は、浦和美園～岩槻までの約 7.2 km です。延伸線は、「埼玉スタジアム駅」「中間駅」「岩槻駅」の 3 駅を新設し、浦和美園駅から岩槻の既成市街地手前までは地上（高架）それ以北は地下を走る計画であり、概算建設費は約 770 億円です。

◆検討内容及び評価

需要予測は、過去の甘い需要予測ではなく、徹底的に精査して、人口減少・リスク等を踏まえた検討を行う為、複数のケースによる需要予測、採算性、B/C を試算している。その結果、慎重ケース（現在の状況で何も変化しない場合）には、需要予測として 23,900 人/日（平成 32 年）、「採算性＝資金収支累積黒字転換 44 年」、「B/C＝0.9（30 年）」という厳しい試算結果となっている。

しかしながら、施策による需要等改善効果を見る「感度分析ケース」では、「まちづくりや快速運転などによって、採算性や B/C 向上させる効果を有すること。」が確認されている。また、高齢社会対応、代替交通確保、地域の再生、持続可能なまちづくり等、事業による多くの効果・影響があると評価されている。

◆延伸の方向性

「現時点で方策の成功を当て込んで事業化を図ることは難しいが、関係者の努力によって方策を展開し、沿線地域の活性化を進めることで、プロジェクトの評価を高めることは可能である。延伸実現に向けては、諸方策を取捨選択、組み合わせ、進捗を丁寧に確認しながら、推進していくことが必要である。延伸実現には、ある程度の年月を要するかも知れないが、速やかに行動を起こして結果を求めていくべきである。」と記載されています。



結果報告会が開催されました!

3/17(土)市民会館いわつきに於いて、14:00～、18:00～の 2 回に分けて実施されました。多くの市民参加の中、さいたま市長、市民協議会長の挨拶の後、検討委員会の検討結果の報告があり、参加者からの質疑応答と意見交換が活発に行われました。

質疑では、地下鉄延伸実現に向けて、この報告書で示された方策を実行に移して、早期に実現できるよう望む声などがあり、市長の決断についての質疑では、本年 9 月頃までには、判断する。と回答されました。

さいたま市議会 2 月定例会報告!

さいたま市議会が、2/7～3/16までの39日間の会期で開かれました。

平成24年度一般会計当初予算を一部修正して可決した他、「安心長生き条例」など市長提出議案72件、議員提出議案6件、委員会提出議案3件、人事案件14件の計95議案を可決・同意して閉会致しました。

本定例会で、初当選後1年間全ての定例会を経験することができました。特に、9月定例会での決算審議と、2月定例会の予算審議の過程を経験できたことを、今後の議会活動の糧として参ります。皆様の声を、市政に反映できるよう全力投球していきます。

